

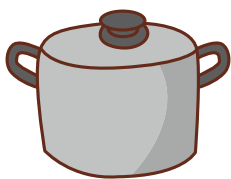
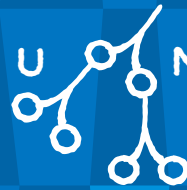


“食べる-つなぐ-つくる”

だれも
一人ぼっちにしない
地域・居場所を!

たま食ねっと

TAMA SHOKU NET.



食べる
つなぐ
つくる



だれも

一人ぼっちにしない
地域・居場所を!



たま食ねっと

は、現在多摩市内で「子ども食堂」などの活動をしている市民(団体)と、
多摩市、多摩市社会福祉協議会、近隣大学などが協力し、話しあいながらすすめています。

voice

だれも一人ぼっちにしない 地域・居場所を！

子ども食堂、だれでも食堂、地域サロン、だれでも畑、フードドライブ…、多摩市では、いろいろな地域・世代・テーマでの支えあいが生まれています。「わたしにも子ども食堂できるかな?」「一度体験してみたいんですが…」「フードバンクがあるといいね」など、いろいろな声がたくさん聞こえています。その支えあいのカタチとネットワークづくりをすすめたい人々のあつまりが『**たま食ねと。**』です。キーワードは、“食べる” “つなぐ” “つくる”。
だれも一人ぼっちにしない地域・居場所をつくろうよ。

voice

やりたい気持ちをどう具体化したらいいか。
個人的には居場所のない中学生をどうにかしたいです。
そして、少し先を生きるモデルとして大学生の子たちにかかわってもらえる場をつくりたい。
どうしたらいいかな～。

voice

地域社会の役に立つことを念頭に
商売させていただいていますが、
子どもたちのみならず、「人と人とのつながり」が
この地この街に必要であると感じています。
つながりの創造をチャレンジしていきたいです。

voice

多摩市の地域資源の発掘、人、お金、場所の中でも
とくに人をどのように見つけていくかが課題と感じます。
近隣大学や高校、シルバー人材など多摩市全域で
「だれでも食堂+学校支援+etc」といった多機能的な居場所が
つくられることを希望すると同時に協力していきたいですね。

voice

多摩市でもこれほど活発に子ども食堂をスタートしていることを知って
とても心強く感じました。まさに学校、家庭、地域で連携して
子どもも大人も一人じゃないと感じられる“ホットな場所”として
これからもっともっと大切な場所になると思います。
こういう集中的な情報センターができて良かったです。

voice

寄付する立場として、団体がどこにあるのか、何が必要なのかがわかりにくいです。
コミュニティーセンターなどにポスター等でボランティア募集をおこなってほしい。
資金に困っている団体と余裕のある団体とで格差があるので、
資金集めのノウハウ交換などが必要なのでは? と思います。

たま食ねと
TAMA SHOKU NET.